

社会学研究室文献リスト〔2015 年度〕

- ・アイヌ文化振興・研究推進機構, 2012, 「アイヌプリ アイヌの心をつなぐ」.
- ・青木聡子, 2015, 「書評に込めて」『環境社会学研究』21:129-133.
- ・青木秀男, 2015, 「原爆と被差別部落 被害の構造的差異をめぐって」『社会学評論』66(1):89-104.
- ・阿部真大, 2013, 『地方にこもる若者たち 都会と田舎の間に出現した新しい社会』朝日新書.
- ・新谷周平, 2002, 「ストリートダンスからフリーターへ 進路選択のプロセスと下位文化の影響」『教育社会学研究』71:151-170.
- ・猪谷千春, 2014, 『つながる図書館 コミュニティの核をめざす試み』ちくま新書.
- ・池谷孝司編, 2009=2013, 『死刑でいいです 孤立が生んだ二つの殺人』新潮文庫.
- ・伊藤美奈子／小澤昌之／安田崇子／星野千恵子／福地直美／近兼路子／原聡／鶴岡舞, 2013, 「不登校経験者の不登校をめぐる意識とその予後との関連 通信制高校に通う生徒を対象とした調査から」『慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要』75:15-30.
- ・石川孝織, 2014, 『釧路炭田 炭鉱と鉄路と』水公舎.
- ・石狩市, 2012, 「そこが知りたい石狩市 石狩市勢要覧」.
- ・石狩市厚田支所, 2015, 「石狩市厚田区 やさしさと元気のあふれるまち」.
- ・石狩市教育委員会, 2010, 『石狩市教育プラン／石狩市子どもの読書活動推進計画』.
- ・石狩市教育委員会, 2014, 『社会教育委員と学ぶ市民講座 平成 25 年度実施報告』.
- ・石狩市社会教育委員の会議, 2014, 「平成 26 年度 提言書」.
- ・石狩市民図書館, 2015, 「これからの図書館がめざすもの 石狩市民図書館ビジョン 平成 27 年度改訂」.
- ・石田淳, 2009, 「仮想的所得再配分による不平等と幸福総和の変動 2005 年 SSM 調査データを用いたシミュレーション分析」『社会学評論』59(4):752-768.
- ・石塚省二, 1992, 『ポスト現代思想の解説 近代の〈原ロゴス〉批判に向けて』白順社.
- ・岩城成幸, 2005, 「対中国 ODA (政府開発援助) 見直し論議」『調査と情報』468:1-10.
- ・上村英明, 2015, 『新・先住民族の「近代史」 植民地主義と新自由主義の起源を問う』法律文化社.
- ・江別市, 2014, 「えべつの景観 江別らしい景観の発見」.
- ・遠軽町, 2013, 「遠軽町町勢要覧 なまら！えんがる」.
- ・大多和直樹, 2014, 『高校生文化の社会学 生徒と学校の関係はどう変容したか』有信堂.
- ・尾形裕康, 1985, 『日本教育通史研究』早稲田大学出版部.
- ・荻野昌弘, 2012, 『開発空間の暴力 いじめ自殺を生む風景』新曜社.
- ・奥田尚, 2007, 「敗戦直後の沖縄の取り扱われ方に関する覚書 進藤榮一『分割された領土 もうひとつの戦後史』を学ぶ」『アジア観光学年報』8:97-103.
- ・小野清美, 2013, 『アウトバーンとナチズム 景観エコロジーの誕生』ミネルヴァ書房.

- ・何義麟, 2014, 『台湾現代史 二・二八事件をめぐる歴史の再記憶』平凡社.
- ・開田奈穂美, 2013, 「大規模開発事業の見直しにおける補償的受益と受苦者のアイデンティティ 諫早湾干拓事業における泉水海漁民を事例として」『環境社会学研究』19:158-173.
- ・加藤多一, 1990, 「宮沢賢治サハリン紀行ノート(第一部)」『稚内北星学園短期大学紀要』3:29-69.
- ・金沢謙太郎, 2012, 『熱帯雨林のポリティカル・エコロジー 先住民・資源・グローバリゼーション』昭和堂.
- ・川面なほ／西城戸誠／武田一郎, 2006, 「水とかかわる地域を学ぶ(2) 宇治川・水害学習の実践記録」『京都教育大学環境教育研究年報』14:29-48.
- ・環境社会学研究編集委員会編, 2013, 「特集: 複合過酷災害への応答 加害・被害の観点から」『環境社会学研究』19:3-95.
- ・北上川河口地域研究グループ編, 2014a, 『【聞き書き】北上川河口地域の人と暮らし 2 宮城県石巻市北上町の女性たち』.
- ・北上川河口地域研究グループ編, 2014b, 『【聞き書き】北上川河口地域の人と暮らし 3 宮城県石巻市北上町の農を育む』.
- ・北田暁大／岸政彦, 2015, 「社会学はどこからきて、どこに行くのか? 第1回 1990年代の社会学」『書斎の窓』640:42-46.
- ・許光俊, 2011, 「明智小五郎と少年探偵団について的小論」『教養論叢』132:15-26.
- ・行啓通商店街振興組合, 2014, 『創立50周年記念情報誌 ハロー行啓通』.
- ・熊野以素, 2015, 『九州大学生体解剖事件 七〇年目の真実』岩波書店.
- ・熊本博之, 2015, 「不可視化される『生活の時間』によりそう 辺野古をめぐる3つの時間」『環境社会学研究』21:22-40.
- ・コロナブックス編集部編(協力: 山本作兵衛事務所), 2014, 『山本作兵衛と炭鉱^{ヤマ}の記録』平凡社.
- ・佐藤恵美子, 2008, 「青少年の読書生活 『教養主義的な読書』の崩壊とライトノベルの隆盛」『教育学研究』8:51-60.
- ・佐藤彌十郎, 1966=2012, 『余滴』ぱとりあ岩内.
- ・佐野雅昭, 2015, 「ファストフィッシュをどうとらえるか」『生活協同組合研究』474:13-21.
- ・様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会, 2012, 「アポイ岳ジオパークハンドブック ジオサイト案内書 様似のジオと自然と歴史に触れる」.
- ・柴村紀代, 1999, 『叢書江別に生きる8 風雪の大地 対雁・脇豊勝日記』江別市／江別市教育委員会.
- ・清水敏一／西原義弘(写真文化首都「写真の町」東川町編), 2015, 『大雪山^{カムイ} 神々の遊ぶ庭^{ミンタラ}を読む』新評論.
- ・白井聡, 2013, 『永続敗戦論』太田出版.
- ・白石草, 2014, 『ルポ チェルノブイリ 28年目の子どもたち ウクライナの取り組みに学ぶ』

岩波ブックレット.

- ・ 鈴木大介, 2014, 『最貧困女子』 幻冬舎新書.
- ・ 鈴木琢也／右代啓視／村上孝一, 2008, 「浦臼町晩生内 1 号チャシの地形測量調査報告」『北海道開拓記念館調査報告』 47:15-28.
- ・ 鈴木宣弘, 2011, 「TPP の影響に関する各種試算の再検討」『月刊 JA』 57(12):35-39.
- ・ 生活協同組合研究編集部編, 2015a, 「特集：欧州の社会変動 直面する課題とその背景」『生活協同組合研究』 469:4-36.
- ・ 生活協同組合研究編集部編, 2015b, 「特集：土地のありかたを考える 日本を中心に」『生活協同組合研究』 478:4-47.
- ・ 関英昭, 2015, 「学校と地域社会と教育委員会」『生活協同組合研究』 472:47-51.
- ・ 総合科学技術会議環境担当議員／内閣府政策統括官（科学技術担当）編, 2004, 『総合科学技術会議ゴミゼロ型・資源循環型技術イニシャティブ ゴミゼロ社会への挑戦 環境の世紀の知と技術 2004』 日経 BP 社.
- ・ 成元哲編（牛島佳代／松谷満／坂口裕介）, 2015, 『終わらない被災の時間 原発事故が福島県中通りの親子に与える影響』^{ストレス} 石風社.
- ・ 高木聡司, 2011, 「『ライトノベル』『少女小説』ジャンルの再検討」『Core Ethics』 7:385-392.
- ・ 高崎優子, 2013, 「自然資源管理のゆらぎを許容する地域社会 沖縄県今帰仁村古宇利島のウニ漁を事例として」『環境社会学研究』 19:143-157.
- ・ 鷹栖町, 2010, 『第 7 次鷹栖町総合振興計画（平成 22 年度～平成 31 年度） 鷹栖町未来づくり構想 ～みんな 笑顔で あったかす～』.
- ・ 鷹栖町, 2014, 「お互い様づくり行動計画」.
- ・ 鷹栖町, 2015a, 『第 7 次鷹栖町総合振興計画後期計画 鷹栖町未来づくり構想 ～みんな 笑顔で あったかす～』.
- ・ 鷹栖町, 2015b, 「町政・教育行政執行方針『平成 27 年度 まちづくりの方針』／私たちのまちづくり『平成 27 年度 まちづくりの予算』」.
- ・ 鷹栖町, 2015c, 「平成 27 年度版 鷹栖町農業の概要」.
- ・ 鷹栖町, 2015d, 「鷹栖町子ども・子育て支援事業計画」.
- ・ 鷹栖町, 2015e, 『鷹栖町暮らしのガイド 平成 27 年度版』.
- ・ 高橋哲哉, 2012, 『犠牲のシステム 福島・沖縄』 集英社新書.
- ・ 高橋哲哉, 2015, 『沖縄の米軍基地 「県外移設」を考える』 集英社新書.
- ・ 千田三四郎, 1996, 『叢書・江別に生きる 6 番屋残照 ろまん・ふるさと草創』 江別市／江別市教育委員会.
- ・ 東海社会学会年報編集委員会編, 2015, 「特集：東日本大震災と社会的弱者 Part2」『東海社会学会年報』 7:1-42.
- ・ トッド, E., 2015, 「ヨーロッパは三度自殺する ドイツ帝国とギリシャ危機」『文藝春秋』 93(10):240-245.

- ・ 鳶島修治, 2014, 「高校生の教育期待に対する性別と出身階層の影響 学力に対する自己認知の媒介効果の検討」『社会学評論』65(3):374-389.
- ・ 苫小牧市, 2014, 「2014 苫小牧市勢要覧 誇れるまち苫小牧」.
- ・ 苫小牧市教育委員会, 2013, 「苫小牧市第四次生涯学習推進基本計画（平成 25 年度～平成 29 年度） 連帯と共生で活力ある学びとまちづくり」.
- ・ 苫小牧市教育委員会, 2014, 「苫小牧市の教育 平成 26 年度」.
- ・ 永原慶二編, 1992, 『講座前近代の天皇【第 1 巻】 天皇権力の構造と展開 その 1』青木書店.
- ・ 名古屋大学太陽地球環境研究所／りくべつ宇宙地球科学館／豊川市ジオスペース館, 2005, 「極地 50 のなぜ」.
- ・ 名古屋大学太陽地球環境研究所／りくべつ宇宙地球科学館／豊川市ジオスペース館, 2007, 「電波 50 のなぜ」.
- ・ 名古屋大学太陽地球環境研究所／りくべつ宇宙地球科学館／豊川市ジオスペース館, 2009, 「地球温暖化 50 のなぜ」.
- ・ 名古屋大学太陽地球環境研究所／りくべつ宇宙地球科学館／豊川市ジオスペース館, 2011, 「宇宙天気 50 のなぜ【第二版】」.
- ・ 新潟県, 2002=2013, 『新潟水俣病のあらまし 〈平成 24 年度改訂〉』.
- ・ 西城戸誠／小内純子／中澤秀雄／大國充彦／新國三千代, 2005, 「社会調査からみる北海道資本主義史 SORD 北海道プロジェクトの準備状況報告をかねて」『社会情報』14(2):293-317.
- ・ 西城戸誠／川面なほ／武田一郎, 2006, 「水とかかわる地域を学ぶ(1) 宇治川・水害学習の実践記録」『京都教育大学環境教育研究年報』14:11-28.
- ・ 日本社会学会編, 2009, 「特集：階層論の拡大する可能性」『社会学評論』59(4):630-751.
- ・ 日本社会学会編, 2014, 「特集：グローバル化と社会的排除に抗う社会運動 ―反グローバリズムの諸相」『社会学評論』65(2):156-269.
- ・ 日本馬事協会編, ****, 「馬のいろいろ 12 日本の馬と祭り」.
- ・ 端島閉山 40 周年記念事業実行委員会編, 2014, 『GREAT HASHIMA 大いなる端島 端島閉山 40 周年記念写真誌』忘羊社.
- ・ 橋本健二, 2008=2014, 『居酒屋ほろ酔い考現学』祥伝社黄金文庫.
- ・ 長谷部真, 2013, 「天売島周辺の夜間の海上における海鳥の記録」『利尻研究』32:85-89.
- ・ 長谷部真, 2014, 「2010-2013 年の焼尻島における海鳥の巣数」『山科鳥学誌』46:29-33.
- ・ 長谷部真, 2015, 「北海道北西部の港におけるオオセグロカモメの人工物上の巣数」『利尻研究』34:33-35.
- ・ 長谷部真／岩澤光子／石郷岡卓哉／善波めぐみ, 2102, 「雄冬地区における海上調査による海鳥の繁殖記録」『利尻研究』31:69-72.
- ・ 馬場治, 2015, 「魚離れの実相」『生活協同組合研究』474:5-12.
- ・ 原清治／浅田瞳, 「高校階層とネットいじめの実態に関する実証的研究 いじめの問題に対す

- る生徒指導の視点から」『佛教大学教育学部学会紀要』14:1-13.
- ・ 日下田岳史, 2014, 「女性の新卒看護師の看護技術等と学歴との関係についての事例研究」『社会と調査』12:62-66.
 - ・ 平光吾一, 1957, 「戦争医学の汚辱にふれて 生体解剖事件始末記」『文藝春秋』35(12):204-214.
 - ・ 平田昌弘, 2014, 『人とミルクの1万年』岩波ジュニア新書.
 - ・ ふかがわ地域資源活用会議, 2014, 「北の黒米」.
 - ・ 福井康貴, 2015, 「非正規雇用から正規雇用への移動における企業規模間格差 二重構造論からのアプローチ」『社会学評論』66(1):73-88.
 - ・ 福島民報社編集局, 2013, 『福島と原発 誘致から大震災への五十年』早稲田大学出版部.
 - ・ 福島民報社編集局, 2014, 『福島と原発2 放射能との戦い+1000日の記録』早稲田大学出版部.
 - ・ 福島民報編集局, 2015, 『福島と原発3 原発事故関連死』早稲田大学出版部.
 - ・ 福武直／日高六郎／高橋徹編, 1957, 『講座社会学7 大衆社会』東京大学出版会.
 - ・ 藤沢法映, 1997, 「アジア・太平洋戦争期の少年読物 15年戦争末期『少年倶楽部』のカラージュ」『金沢大学教育学部紀要 教育科学編』46:1-18.
 - ・ 布施鉄治編, 1982, 『地域産業変動と階級・階層 炭都・夕張／労働者の生産・労働—生活史・誌』御茶の水書房.
 - ・ 布施鉄治編, 1992, 『倉敷・水島／日本資本主義の展開と都市社会 繊維工業段階から重化学工業段階へ；社会構造と生活様式変動の論理 第1分冊 水島重化学コンビナート創設と地域社会変動』東信堂.
 - ・ 布施鉄治編, 1992, 『倉敷・水島／日本資本主義の展開と都市社会 繊維工業段階から重化学工業段階へ；社会構造と生活様式変動の論理 第2分冊 倉敷・児島・玉島／繊維産業都市の変動』東信堂.
 - ・ 布施鉄治編, 1992, 『倉敷・水島／日本資本主義の展開と都市社会 繊維工業段階から重化学工業段階へ；社会構造と生活様式変動の論理 第3分冊 都市地域社会と生活様式変動の論理』東信堂.
 - ・ 船橋恵子編, 2015, 『船橋晴俊 研究・教育・社会変革に懸けた一筋の道』比較社会構想研究所.
 - ・ 古川美穂, 2015, 『東北ショック・ドクトリン』岩波書店.
 - ・ 堀田恭子, 2015, 「平成25年度在外短期検収印研修成果報告 海外調査着手報告 台湾油症事件に関する環境社会学的調査」『立正大学文学部論叢』138:139-155.
 - ・ 堀潤, 2013, 『変身 メルトダウン後の世界』角川書店.
 - ・ 本田由紀編, 2015, 『現代社会論 社会学で探る私たちの生き方』有斐閣ストゥディア.
 - ・ 本間謙二, 2015, 『必ずや社会はきみたちを求めてくる 北海道教育大学長退任記念講話録』一粒書房.

- ・前田土佐守家資料館編, 2007, 『起居録 開館 5 周年記念 合冊第 1 集 (第 1 号～第 20 号)』.
- ・前田土佐守家資料館編, 2012, 『起居録 開館 10 周年記念 合冊第 2 集 (第 21 号～第 40 号)』.
- ・前田土佐守家資料館編, 2015, 『前田土佐守家資料館図録』.
- ・正村俊之, 1995, 『秘密と恥 日本社会のコミュニケーション構造』 勁草書房.
- ・松本康編, 2011, 『都市社会学セクション I 近代アーバニズム』 日本評論社.
- ・マルクス, K. (向坂逸郎訳), 1969, 『資本論 (七)』 岩波文庫.
- ・道下徳成, 2013, 『北朝鮮 瀬戸際外交の歴史』 ミネルヴァ書房.
- ・道場親信, 2013, 「原水爆禁止運動と冷戦 日本における反核平和運動の軌跡」, 酒井哲哉編, 『日本の外交 3 外交思想』 岩波書店, pp.225-256.
- ・宮内泰介, 2013, 『グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング』 三省堂.
- ・宮岡幸雄, 2014, 『税金を払わない巨大企業』 文春新書.
- ・宮本みち子, 2015, 「単身化社会のゆくえと親密圏の再構築」『生活協同組合研究』479:18-25.
- ・武藤正敏, 2015, 『日韓対立の真相』 悟空出版.
- ・村山聡, 2015, 「環境史研究とナラティブアプローチ 青木聡子著『ドイツにおける原子力施設反対運動の展開』を読む」『環境社会学研究』21:122-128.
- ・森貴史／藤代幸一, 2013, 『ビールを〈読む〉 ドイツの文化史と都市史のはざままで』 法政大学出版局.
- ・柳澤協二, 2013, 『検証 官邸のイラク戦争 元防衛官僚による批判と自省』 岩波書店.
- ・山里稔, 2014, 『北海道 木彫り熊の考察』 かりん舎.
- ・吉井美知子, 2011, 「2001 年日本の反原発ソングに関する研究 1960 年代ベトナムの反戦歌との比較から」『三重大学国際交流センター紀要』7:55-65.
- ・利尻町, 2014, 「IISLAND MESSAGE 利尻町勢要覧」.
- ・レヴァイアサン編集委員会編, 2014, 「特集: 外交と世論」『レヴァイアサン』54:5-90.
- ・鷺谷花, 2000, 「怪人、帝都を席卷す 『怪人二十面相』と『少年倶楽部』の地政学」『文学研究論集』17:71-81.

- ・Arendt, H. (Edited by Kohn J.), 1994, *Essays in Understanding 1930-1954*, New York: Harcourt Brace & Company. (= 齋藤純一／山田正行／矢野久美子訳, 2002, 『アーレント政治思想集成 2 理解と政治』 みすず書房).
- ・Braudel, F., 1949=1966, *La Mediterranee: et le Monde Meditteraneen a l'Epoque de Philippe II*, Armand Colin, Deuxieme edition revue et corrigee. (= 浜名優美訳, 1994, 『地中海Ⅳ 出来事、政治、人間 1』 藤原書店, 浜名優美訳, 1995, 『地中海Ⅴ 出来事、政治、人間 2』 藤原書店).
- ・Gellner, E., 1983, *Nations and Nationalism*, Oxford: Blackwell. (= 加藤節監訳, 2000, 『民族とナショナリズム』 岩波書店).

- Giddens, A., 1987, *Social Theory and Modern Sociology*, Cambridge: Polity. (=藤田弘夫監訳, 1998, 『社会理論と現代社会学』 青木書店).
- Mir, A., 2006, *The True Face of Jihadis*. (=津守滋／津守京子訳, 2008, 『ジハード戦士真実の顔 パキスタン発＝国際テロネットワークの内側』 作品社).
- Neumann, F., 1942=1944, *Behemoth: The Structure and Practice of National Socialism 1933-1944(2nd Edition with new appenndix)*, Oxford: Oxford University Press. (=加藤栄一／岡本友孝／小野英祐訳, 1963, 『ビヒモス ナチズムの構造と実際』 みすず書房).
- Reish, R.B., 2012, *Beyond Outrage: Expanded Edition: What has gone wrong with our economy and our democracy, and how to fix it*, NewYork: Vintage. (=雨宮寛／今井章子訳, 2014, 『格差と民主主義』 東洋経済新報社).
- Van Evera, S., 1997, *Guide to Methods for Students of Political Science*, Cornell University Press. (=野口和彦／渡辺紫乃訳, 2009, 『政治学のリサーチ・メソッド』 勁草書房).
- Weber, M., 1921=1972, *Wirtschaft und Gesellschaft: Religions-soziologie*, fünfte, revidierte Auflage, Zweiter Teil, Kapitel V. (=武藤一雄／藺田宗人／藺田坦訳, 1976, 『宗教社会学』 創文社).
- Weber, M.(Edited by W.J. Mommsen & E. Dahlmann), 1996, *Studien Ausgabe Edition: Zur Russischen Revolution von 1905*, Tübingen: J.C.B. Mohr(Paul Siebeck). (=雀部幸隆／小島定訳, 1997, 『ロシア革命論Ⅰ』 名古屋大学出版会, 肥前栄一／鈴木健夫／小島修一／佐藤芳行訳, 1998, 『ロシア革命論Ⅱ』 名古屋大学出版会).

社会学ゼミであつかった文献一覧<2015 年度>

- Stuart, T., 2009, *Waste: Uncovering the Global Food Scandal*, London: Penguin Books. (=中村友訳, 2010, 『世界の食料ムダ捨て事情』 NHK 出版).
- 平岡義和, 2013, 「組織的無責任としての原発事故 水俣病事件との対比を通じて」『環境社会学研究』 19:4-19.

社会学演習であつかった文献一覧<2015 年度>

- 伊藤賢一, 2009, 「消費社会論の存立構造 Ritzer 再魔術化論をめぐる考察」『群馬大学社会情報学部研究論集』 16:27-37.
- 樋口直人, 2014, 『日本型排外主義 在特会・外国人参政権・東アジア地政学』 名古屋大学出版会.
- 若尾祐司／本田宏編, 2012, 『反核から脱原発へ ドイツとヨーロッパ諸国の選択』 昭和堂.
- Anderson, B., 1983=2006, *Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism*, London: Verso. (=白石隆／白石さや訳, 2007, 『定本 想

像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』書籍工房早山).

- Kassiola, J.J., 1990, *The Death of Industrial Civilization: The Limits to Economic Growth and the Repoliticization of Advanced Industrial Society*, New York: State University of New York. (=岡村龍輝／帯谷博明／孫榮振／所伸之訳, 2014, 『産業文明の死 経済成長の限界と先進産業社会の再政治化』ミネルヴァ書房).
- Litzer, G., 2004, *The Globalization of Nothing*, London and New Delhi: Pine Forge Press. (=山本徹夫／山本光子訳, 2005, 『無のグローバル化 拡大する消費社会と「存在」の喪失』明石書店)
- Todd, E., 1976=1990, *La Chute Finale: Essai sur la Décomposition de la Sphère Soviétique*, Robert Raffont. (=石崎晴己監訳, 2013, 『最後の転落 ソ連崩壊のシナリオ』藤原書店).

社会学特別演習で読んだ文献＜2015 年度＞

- 小野谷加奈恵, 2010, 「N・ノディングス『ケアリング』におけるケア論の批判的検討」『先端倫理研究』5:68-90.
- 久保田真功, 2013, 「なぜいじめはエスカレートするのか? いじめ加害者の利益に着目して」『教育社会学研究』92:107-126.
- 櫻井裕子, 2011, 「中学生が考える『学校』と『不登校に対するイメージ』について」『奈良女子大学社会学論集』18:181-196.
- 清水香保里, 2014, 「豊かな人間性を育む学級経営の実践 自己肯定感を高める指導法の工夫」『教育研究所紀要』23:149-158.
- 土方由起子, 2010, 「子供の生きづらさとは何か リスク社会における不登校」『奈良女子大学社会学論集』17:259-276.
- 中村麻由子, 2014, 「ケアリングを基盤とした学校の教育実践の再編」『学校教育学研究論集』29:15-27.
- 増田修治, 2014, 「体罰といじめ・スクールカーストの関係性 学生アンケートから考える」『学校危機とメンタルケア』6:30-52.
- 盛満弥生, 2011, 「学校における貧困の現れとその不可視化 生活保護世帯出身生徒の学校生活を事例に」『教育社会学研究』88:273-294.